

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
22111	通信指令業務	消防局	通信指令課	2
22113	消防通信指令管制システム管理事業	消防局	通信指令課	3
22113	松山圏域消防指令センター整備事業	消防局	通信指令課	4

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当G	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202
------	-----	-----	-------	-----	-----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	通信指令業務		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
22111								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備							
主な取組	消防・救急・救助体制の充実		根拠法令	消防組織法第6条				
取組みの柱	体制の強化							
目的・背景	平成2年4月に通信指令課を新設し、消防通信指令管制システムを整備したことにより業務を開始した。市民から災害等の119番通報を受け付け、出動指令を迅速かつ的確に行うことで、市民の生命・身体及び財産を災害等から保護する。							
対象・内容	市民からの災害等の119番通報を受け付け、災害内容に応じた消防車両を選別して出動指令を迅速かつ的確に行った。発語が困難な方からの災害情報を「まつやま圏域Net119」で受け付け、適切に出動できる体制を確保した。火災発生時に、メール配信システム「まつやま防災メール」で市民へ情報提供を行った。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	常備消防費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	消防指令システム保守業務委託料		19,336
予算(千円)	事業費計	36,682	63,567	101,292			消防OAシステム保守業務委託料		2,797
	国費・県費						NET119緊急通報システムサーバー使用料		2,706
	市債								
	その他	448	13,073	28,574					
一般財源	36,234	50,494	72,718						
決算(千円)	事業費計	36,189	50,950			主な取組内容【R6】	・119番通報の受信と出動指令、消防無線の統制		
	国費・県費		1,188				・指令通信回線等の維持管理		
	市債						・「ライブ映像119」を利用した映像の送受信		
	その他	268	12,193						
	一般財源	35,921	37,569						
(執行率)	99%	80%							
人役	正規職員	19.0	18.0	18.0		特記事項	令和7年度に消防通信指令管制システム管理事業と統合		
	その他								
	合計	19.0	18.0	18.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	24時間365日緊急通報受信体制を確保	目標	100	100	100	100	システム運営・維持管理に関する事務を適正に執行できたため。	
		実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%			
成果指標	ライブ映像119の利用件数	目標	80	90	100	100	通報者への利用を啓発することができたものの、利用要件を満たしていない通報もあったため。	
		実績	83	58				
	累計で増	件	達成率	104%	64.4%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	<ul style="list-style-type: none"> 日々の維持管理及び保守により、システム機器等に重大な障害は発生せず、確実な119番通報の受信と、消防隊や救急隊へ迅速かつ的確な出動を指令することができた。 「ライブ映像119」を有効活用するため、消防のイベントをはじめ、様々な機会を捉えて普及啓発活動をする必要がある。 						
課題	「ライブ映像119」と「まつやま圏域Net119」の普及啓発			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	消防が行うイベントや訓練での周知と、ホームページやチラシの配布などにより啓発を続けていく。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当G	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202
------	-----	-----	-------	-----	-----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	消防通信指令管制システム管理事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営
22113							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	安全に暮らせる環境をつくる						
施策	消防・救急・救助体制の整備			-	-	-	-
主な取組	消防・救急・救助体制の充実		根拠法令	消防組織法第6条			
取組みの柱	情報収集・伝達手段の向上						
目的・背景	平成26年度に消防指令管制システムを構築・整備し、平成27年度から運用を開始した。システムを使用して、火災・救急等の災害発生時に119番緊急通報の受け付けから消防隊・救急隊の出動指令までの一連の操作と現場活動支援などを効率的に行い、迅速かつ的確な消防・救急業務を遂行する。						
対象・内容	消防通信指令管制システムを構成する機器等のリース契約、システム運営・維持管理を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	消防支援システムプリンターリース料		150	
予算(千円)	事業費計	108,566	811	0			主な取組内容【R6】	署活動用無線機購入費	1,001	
	国費・県費							・消防支援システムに必要な機器の維持管理 ・活動時の連絡手段である署活動用無線の老朽更新		
	市債									
	その他									
一般財源	108,566	811								
決算(千円)	事業費計	108,414	1,151			特記事項	・救急隊増隊に伴い署活系無線機の購入数が当初の予定から増加 ・令和7年度に通信指令業務へ統合			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	108,414	1,151							
	(執行率)	99.9%	142%							
人役	正規職員	0.5	0.5							
	その他									
	合計	0.5	0.5	0.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	24時間365日システムを安定稼働	目標	100	100			システム運営・維持管理に関する事務を適正に執行できたため。	
		実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	日々の維持管理及び保守により、システムに重大な障害は発生せず、確実な119番通報の受信と、消防隊や救急隊へ迅速かつ的確な出動を指令することができた。						
課題	特に無し			今後の方向性	事業終期到来	左記の理由	令和7年度に通信指令業務へ統合	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	消防局	課等名	通信指令課	担当G	共同運用・管理担当	連絡先	926-9202
------	-----	-----	-------	-----	-----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山圏域消防指令センター整備事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
22113								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備							
主な取組	消防・救急・救助体制の充実		根拠法令	消防組織法第6条				
取組みの柱	情報収集・伝達手段の向上							
目的・背景	消防指令業務の共同運用を行うことで、スケールメリットにより業務が効率化され、各市町の経費が削減できるとともに、消防本部間の連携と情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模災害時の相互応援体制を充実強化する。							
対象・内容	松山圏域の3消防本部で、緊急時の119番通報の受信と消防隊や救急隊への出動指令、消防無線の統制等の消防指令業務を共同で行う「松山圏域消防指令センター」を整備する。 ・3消防本部:松山市消防局(松山市)・伊予消防等事務組合消防本部(伊予市、伊予郡松前町、伊予郡砥部町)・東温市消防本部(東温市) ・設置場所:松山市消防局 5階 ・運用開始:令和6年4月1日							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費		
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	新デジタル無線接続業務委託		25,534		
予算(千円)	事業費計	1,708,003	1,494,124	0				【R6決算】	デジタル無線設備更新工事		1,240,800
	国費・県費										
	市債	1,053,600	805,800								
	その他	651,646	683,782								
	一般財源	2,757	4,542								
決算(千円)	事業費計	961,401	1,287,669			主な取組内容【R6】	・新消防指令システムへの無線回線の接続 ・消防救急デジタル無線設備の更新				
	国費・県費										
	市債	710,300	684,100								
	その他	248,332	591,926								
	一般財源	2,769	11,643								
	(執行率)	56%	86%								
人役	正規職員	2.0	1.5	0.0		特記事項					
	その他										
	合計	2.0	1.5	0.0							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	消防救急デジタル無線更新	目標	50	100	-	-	適正に事務を執行できたため、令和6年度で整備が完了した。		
		実績	50	100					
	累計で増	%	達成率	100%	100%				
成果指標	消防指令システムでの無線の交信地域	目標	80	100	-	-	適正に事務を執行できたため、令和6年度で整備が完了した。		
		実績	80	100					
			達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	令和7年2月末日に消防救急デジタル無線の更新が完了した。これにより、「松山圏域消防指令センター」の全管轄で、消防指令システムでの無線の交信が可能となった。							
課題	特に無し			今後の方向性	事業終期到来	左記の理由	令和6年度で事業完了		